

みんなでつくりあげた「野田小まつり」

11月7日（金）に、児童会行事「野田小まつり」を行いました。たてわり班でゲームのお店を準備し、お店番をしたりお店をまわったりして、協力しながら活動します。子どもたちは、この日をとても楽しみにしながら、たてわり班で一生懸命準備をしてきました。

まずは講堂に全員集まり、「野田小まつり」のスタートです！

「はじめの会」では、児童会の代表委員の子どもたちが司会進行やあいさつをしました。校長からは、『たすけあう』『ただし行動をする』『たのしくすごす』の3つの『た』を大切にしてくださいと話をしました。続いて、各班のリーダーたちが舞台上がり、お店の紹介をしました。寸劇やコント風に話したり、小道具や身に付けるものを工夫したり、工夫をこらしてそれぞれのお店のPRをしました。「はじめの会」が終わると、各班の場所に分かれ、お店の最終準備をしました。



さあ、いよいよお店まわりが始まります。各班のゲームのお店の内容は、「伝言ゲーム」「スプーンリレー」「片足立ち」「ボウリング」「紙飛行機」「魚釣り」「まともあて」「重さ当て」など。いろいろなお店がたくさんあり、まるで万博のパビリオンのようです。40分ごとの3交代で店番を行い、仕事がないときは6年生を中心としたグループでお店をまわって楽しめます。店番では、6年生がリードしながら、子どもたち一人一人が役割を意識して、自分の仕事に意欲的に取り組んでいました。（※裏面に続く）

(※表面より)



また、お店まわりでは、高学年の子どもたちが下級生にやさしく声をかけながら教室をまわったりゲームをしたりしていました。下級生にとって、高学年の子どもたちは、とてもやさしくて頼りがいがあるお姉さん、お兄さんです。



楽しかったゲームのお店の時間が終わると、校長室と各教室をオンラインで結んで「終わりの会」を行いました。「終わりの会」では、代表委員の子どもたちが司会進行やあいさつをしました。「終わりの会」のあと、班のみんなですった教室や道具の片づけをしました。後片づけも6年生のリーダーを中心にメンバーで協力し、ほとんどの班が短時間で終わりました。

「野田小まつり」は、どの子どもたちにとっても楽しい行事になりました。6年生のリーダーや代表委員の子どもたちは本当によくがんばっていました。野田小まつりを盛り上げようという気持ちが、全校の子どもたちの心に届いたことでしょう。そして、どの班もまとまって、楽しく仲良くすごすことができたのは、高学年の子どもたちが責任をもって班をまとめてくれたからです。そして、班のみんなが、集団ですごすときのルールやマナーを意識し、守っていたからです。

子どもたちには、助け合って、協力して、ルールやマナーを守ることができると、こんなに楽しくすごせるということをこれからも意識しながら学校生活を送ってほしいです。そして、野田小学校の子どもたち全員がこれからも支え合い、仲よくすごしてほしいと思います。



※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。